

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センターで人工膝関節置換術を受けられたまたは検討された患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

人工膝関節置換術における、骨切り方法の違いが臨床成績、X線学的所見に与える影響の調査

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科・関節センター 主任部長・センター長 平中崇文

3. 研究の目的

人工膝関節では骨を切ってその面にインプラントを設置します。この骨きりにはいくつかの種類がありますが、どの方法で骨を切ったら良いかまだ明らかになっていません。この研究は、過去に当院で手術を行った患者様のデータから骨きりの方法の違いによる結果をかいせきすることが目的です。この研究により今後どのような場合にどのように骨路切れれば良いかより明確になります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

当院で2009年1月以降に人工膝関節置換を受けられた方、または検討された方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢・性別・身長・体重・可動域、臨床スコア(Oxford Knee Score、KSS Score、JOA Score等)その他の術前・術後臨床データ、使用機種、骨きりの方法、インプラントサイズ、インプラントの位置、インプラント間、インプラントと骨など解剖学的指標間の距離や角度、術中関節軟骨、靭帯の所見などの術中計測値、術前直後下肢X線写真、CT写真にて得られる情報です。

(3) 方法

診療録やX線写真、CT写真をなどからデータを抽出して統計処理をかけます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合 臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 平中 崇文

TEL: 072-681-3801 FAX: 072-682-3834

E-mail: takafumi.hiranaka@gmail.com